ナマステ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌

99 号

2010 年 2 月 25 日発行号

2009 年は皆様と、多くの経験をしました。ありがとうございました！！

11 月　ログハウスつに完成！！

7 月　囲炉裏も完成～！

8 月　川で遊ぶ少年たち！

2010 年もよろしくお願いします～。たくさん遊び、学び、動きましょう！！

春休みは雪中キャンプですよ～。

次回ログハウスづくりの材料も準備完了！

今年もタイへ行きますよ！！

第 6 回通常総会を開催しました。

１月３０日（土）に東京学芸大学にて開催しました。

現在進行中の、「ELF 環境学習中堅指導者のびと研修会」「ログビルダー養成講座」「冒険学校」「のびと講座」などなど、本会の活動予定を中心に密度の濃い話し合いができました。

今年も多くの活動を実施していきますので、皆さまのご協力・ご参加の程よろしくお願いします。

—もくじ—

第 6 回通常総会の報告 2
春～夏までの活動のご案内 4
タイキャンプからの報告 6
事務局だより 8

また、新規役員として井上尚子さん、加藤翔さんが運営委員として承認されました。運営委員会も若い人たちに多く加わってもらうように進めていきたいと思います

第 6 回通常総会に関しては紙面の都合上、活動予定と決算報告のみ掲載しました。ホームページにて、第 6 回通常総会の資料を閲覧が可能です。ご承知くださいませ。

第 6 回通常総会の報告①　2009 年度　自然文化誌研究会の活動予定　　皆様、ぜひご参加ください～！！

月日	事業	場所	備考
1/30	第 6 回通常総会・理事会	学芸大環境施設	
2/20	植物と人々の博物館友の会総会	学芸大環境施設	
2/27-28	みなかみ雪中キャンプ下見	群馬県みなかみ町	三菱 UFJ 環境財団　水源の森
3/27-29	みなかみ雪中キャンプ	群馬県みなかみ町	三菱 UFJ 環境財団　水源の森
4 月中	ログハウス完成祝い	小菅村	
4/10	たちかわ環境フェア出展	立川市	
4/18-19	山菜と新緑のデイキャンプ	小菅村	
4/24	野草のてんぷらとお茶つみ	学芸大環境施設	
5/3-5	むらまつりキャンプ	小菅村	
5/8-9	雑穀栽培講習会　種まき祭り	小菅村	INCH畑にも種まき
5/29-30	UFJ寄附講座巡検	小菅村	
6/5	第 30 回環境教育セミナー	学芸大環境施設	須田郡司氏ほか
6/13	デイキャンプ（竹細工など）	学芸大環境施設	
7/3-4	CONE リーダー養成事業	小菅村	
7/23-25 頃	登山道整備	甲武信小屋周辺	
7/29	キャンプスタッフのための 医療講習会	小菅村	
7/30-8/4	こすげ冒険学校	小菅村	5 泊 6 日
8/7-8	やまめキャンプ	小菅村	親子対象連続での 2 泊 3 日可
8/8-9	いわなキャンプ	小菅村	
8/14-22	タイ環境学習キャンプ	タイ	
9/25-26	きのこキャンプ①	小菅村	
10/9-11	自然体験講座	中津川（旧・大滝村）	
10/16-17	きのこキャンプ②	小菅村	
11/3	デイキャンプ	学芸大環境施設	学芸大の学園祭
12/11-12	星空観察会	小菅村	
12/26-28	まふゆのキャンプ	小菅村	

※ログハウス企画第 2 弾「ログビルダー養成講座」、「（仮）水洗トイレプロジェクト」に関しては、順次開催する予定です。

※2010 年度は、デイキャンプを 3 回（4/24、6/13、11/3）に開催することに決定しました。

※日程に関しては若干の変更もありますのでご承知くださいませ。

第 6 回通常総会の報告②　2010 年度　自然文化誌研究会の決算報告

平成21年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支計算書

平成21年1月1日から平成21年12月31日まで

特定非営利活動法人自然文化誌研究会

科　　目	金　額（単位:円）		
Ⅰ 収入の部			
1 会費収入			
会費収入		505,000	
2 事業収入			
(1) 野外環境学習事業収入	2,207,000	2,471,600	
(2) 指導者養成事業収入	186,000		
(3) 普及事業収入	78,600		
3 委託事業収入		1,214,866	
4 補助金等収入			
助成金収入		800,000	
5 寄付金収入			
寄付金収入		335,383	
6 雑収入		18,000	
当期収入合計(A)		5,344,849	
前期繰越収支差額		-640,237	
収入合計(B)			4,704,612
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
(1) 野外環境学習事業費	1,913,063		
(2) 指導者養成事業費	83,148		
(3) 普及事業費	59,465		
		2,055,676	
2 一般管理費			
(1) 職員給与	1,370,000		
(2) 通信費	65,985		
(3) 事務局運営費	447,505		
燃料代	192,905		
電話代	233,119		
事務用品費	68,739		
書籍資料代	0		
印刷・製本費			
備品代	703,687		
		3,081,940	
3 予備費			
4 補助金支出	800,000	800,000	
予備費			
当期支出合計(C)			5,937,616
当期収支差額(A－C)			-592,767
時期繰越収支差額(B－C)			-1,233,004

2009 年度は、ログハウスや囲炉裏の製作、本会拠点の引越しなど、特別な支出が多くありました。
2010 年度は特別な支出の予定がないので、黒字経営を目指していきたいと思います。
ログハウス完成に伴いまして、会員の皆様のご寄付等募っておりますのでよろしくお願いいたします。

■ 活動案内 ■

その１　『みなかみ雪中キャンプ』

利根川の源流部である、群馬県みなかみ町。その山奥で、2m の積雪の中で２泊３日のキャンプを行います。雪上生活では、何をするにも雪があります。そんな雪を味方にして、楽しいキャンプをしましょう！

日　程：2010 年３月 27 日（土）～２９日（月）
場　所：群馬県みなかみ町　三菱 UFJ 環境財団水源の森
宿　泊：テント・雪洞・イグルーなど。
対　象：小学校３年生～中学校３年生　20 名
参加費：￥20,000　※交通費を除く
集合と解散：上越新幹線　上毛高原駅　※東京駅も可能です。
＊寝袋や食器などのキャンプ道具は本会にいっぱいあるので、お貸しできます。
＊参加希望者は、ハガキ・もしくはＥ－ｍａｉｌに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、３月 12 日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。

その２　のびと講座「山菜と新緑のデイキャンプ」

小菅村では新緑の季節を迎えます。遅れて咲く桜もあるのでお花見にもちょうどよい時期です。
日帰り、宿泊どちらでもかまいません。小菅村にふらっと遊びにいらっしゃいませんか～？

日　程：2010 年４月 17 日（土）と 18 日（日）
場　所：山梨県北都留郡小菅村
宿　泊：希望者はキャンプ場でテントかログハウス
対　象：どなたでもお越しください。
参加費：会員：2,000 円　非会員：3,000 円
（材料費、食費、保険代が含まれています）
＊参加希望者は、ハガキかＥ－ｍａｉｌに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、４月９日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。
※宿泊希望の方は、別途宿泊費が掛かりますのでご相談ください。

←少し大きいけど美味しい「コゴミ」などなど。

その３　冒険学校「むらまつりキャンプ」

新緑と清流の中で、お祭りにも参加するキャンプです。
小菅村では「第２４回　多摩源流まつり」も開催しています。

日　程：２０１０年５月３~５日（２泊３日）
場　所：山梨県北都留郡小菅村でのキャンプ
対　象：小学校３年生～中学校３年生、親子参加可能。
参加費：￥20,000（親子で参加の方は割引があります）
＊寝袋や食器などのキャンプ道具はお貸しできます。
＊参加希望者は、ハガキ・もしくはＥ－ｍａｉｌに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、４月 19 日（月）までに事務局まで参加をお伝えください。

その４　のびと講座「野草の天ぷらとお茶つみ」

日　程：2010 年４月２４日（土）の予定　9:30～15:00
場　所：東京学芸大学附属　環境教育実践施設　彩色園
対　象：どなたでもお越しください。
参加費：中学生以下：300 円　　高校生以上：500 円
＊当日参加で OK ですが、事前に参加の旨を電話かメールで事務局までご連絡くださいませ（材料の準備のため）。
＊昼食は持参でお願いします（天ぷらと味噌汁は作ります）。
＊汚れても良い格好できてください。
＊余裕のある方は早めにお越し戴き、ご一緒に準備しましょう～！

その５　「雑穀栽培講習会～種まき祭」

日　程：2010 年５月８日（土）～９日（日）
場　所：山梨県北都留郡小菅村　雑穀見本園
参加費：中学生以下：300 円　　高校生以上：500 円
詳　細：植物と人々の博物館との共催事業です。ご興味のある方は事務局までご相談ください。

その６　「第 30 回環境教育セミナー　生物文化多様性とアニミズム」

日　程：2010 年６月５日（土）
場　所：東京学芸大学環境教育実践施設
参加費：懇親会の会費のみの予定です。
詳　細：須田郡司さん（石文化）、中野正貴さん（魚）、川上香さん（雑穀）、安西英明さん（鳥）、宇根豊さん（水田）さんをパネリストとしてお招きします。いずれの方も生物文化多様性をテーマにご活躍されている方々ですので、お楽しみに！！　詳細はホームページで紹介していきます。

★タイ環境学習キャンプの記録その１　中込貴芳（自然文化誌研究会副代表理事）

タイの環境教育キャンプは、1998 年、INCH とタイ、ラジャバト・プラナコン大学の環境教育学科の合同キャンプとして始まりました。その後、チェンマイやチュンポン、カンチャナブリなどにあるタイ各地の国立公園などで環境問題や環境教育の現状について共同で学習し交流を続ける中で、ここ数年は、バンコクから北西に 4 時間あまり行ったところにあるウタイタニ県バンライでキャンプを実施しています。このバンライという町は、世界遺産に登録されているファイカケン野生動物保護区に隣接し、周辺にはタイの少数民族であるカレン族やラオ族の集落があり、タイの野生動物や文化を学ぶには絶好の立地条件にあります。ここで、私たちは、かつてタイのこの地区の WWF で活動し、その撤退に伴って、この地に残って環境教育の普及活動を続けているシリポン氏と知り合いになりました。彼は自ら、その地域の様々な植物を移植し、バンガローや、集会場のあるパンダキャンプと呼ぶ施設を作り、環境学習を実践しています。私たちは、このパンダキャンプを拠点に、毎年 8 月に日本から環境教育に興味のある教員、社会人、学生を集め環境教育キャンプを企画しています。以下は 2009 年度に実施されたキャンプついての具体的な報告です。

大学の学食でタイの先生と

2009 年のキャンプは、8 月 15 日から 23 日までの 9 日間の日程で行われました。参加者は、学生 4 人、教員 3 人、スタッフ 2 人、子供 1 名そして、私たちのキャンプの最大の協力者−タイの大学で日本語を教えている日本人の先生 1 名の総勢 11 人です。

初日のバンコクの宿泊先は、グランドビューホテル。ずっと交流を続けてきたラジャバト・プラナコン大学内にあります。ドンムアン空港に代わって 2006 年に開港したバンコク・スワンナプーム国際空港から車で約 1 時間の距離にあります（ドンムアン空港からはたった 15 分だったのに！）。いつもバンコクでは、お付き合いをしている大学の先生方が温かく迎えてくれます。今回は、夕食をタイの第一の大河−チャオプラヤー川のほとりのレストランで川面に映る夕日を眺めながらご一緒しました。

ウタイタニでのリバークルーズしながらの昼食

翌日は、バンライに向けて運転手付のワゴン車に乗って出発です。バンコクでの朝食はいつも大学構内で朝早くからやっている屋台風の学食で済ませます。テーブルが並べられた大きな屋根付きの吹き抜け広間の端に屋台風の出店が立ち並び、そこから料理を選んで食べます。麺類からご飯まで、いろいろな種類のタイ料理が 1 食 30 バーツ（90 円）くらいのリーズナブルな値段で食べることができ、本当の庶民の味（うまい）を味わうにはもってこいの場所です。バンコクを出発すると、バンライから迎えに来たワゴン車は、途中必ずロータス（スーパーマーケット）寄ってもらいます。ここでの目的はサンダルや衣類や食料などキャンプの必需品の買い出しです。特に、ビールの購入は忘れてなりませんっ！今回はバンライまで、ウタイタニ経由で行きました。昼食は、船に乗って河を下りながら食べました。あ

つい日差しが照りつける真昼の静かな川面を船は滑るように走っていきます。船からは川に沿って建つ民家が見え、この地方の人々の生活の様子をうかがい知ることが出来ます。昼食後、近くの大きな崇拝を集める大寺院を見学し、市場を見学しました。市場は、その土地の人々の生活ぶりを知るのにはもっともよい場所です。この市場では、川に面しているだけあって淡水の魚介類の種類の多さに驚かされます。

夕方、車はバンライのパンダキャンプに到着しました。シリポン氏やその家族など懐かしい人の再会です。パンダキャンプは、訪れるたびに拡張され様子が変わっています。植えられた植物はどんどん大きくなり、キャンプの中を流れる小川は毎年流れを変えています。私たちが泊まるのは、小川を渡った、広場の端にある竹製のバンガローです。この施設も 2～3 年前にできました。すぐ近くに大きなイチジク（ピグツリー）の木のあるとても落ち着く場所です。シリポン氏は私たちが到着するといつも、パンダキャンプを巡り植えられている木について熱心に説明してくれます。このキャンプには、有用ないろいろな植物が移植されていて、カレン族やラオ族を始めとするこの地方の人々がどのように植物と関わり利用してきたかうかがい知ることができます。実際にこのキャンプでは地元の子供たちがそうした失われつつある植物に関する知恵を学んだりする活動を行っています。

このキャンプでの生活はとてもゆったり時が流れ快適です。熱帯なので昼間はたしかに暑いですが、夜は標高があるせいもあって意外に涼しく過ごしやすいです。食事は、川の手前にある厨房施設のある東屋風の食堂施設でとります。いつも、料理人をやとっているので、ここでの食事はバラエティに富み、味も格別です。この日の夕食もここでとりました。その夜は、再会を喜びながらビールを酌み交わしました。

三日目からは、いよいよキャンプ本番です。ワゴン車に乗って、途中温泉に寄ってから、ファイ・カケン野生動物保護区の管理本部に向かいました。温泉は、大きなダム湖のほとりにあり、何棟かの浴槽の建物が建っていて、その建物を男女それぞれ一棟ずつ借り切って入浴します。ただ、平素は浴槽にはお湯が入っていないため、大きな浴槽にお湯がなかなか貯まらず、腹ばうようにして入りました。しかし、パンダキャンプでは、トイレの中の大きな桶に貯めた水を体にかけて汗を流すだけなので、硫黄分のある天然温泉の入浴は湯上がりもさっぱりして快適でした。保護区本部は、バンライから北に車で三時間ほどの距離にあり、キャンプ場や研究者の宿泊棟や集会場や研究や観察のためのネイチャートレイルが付属していて動物保護区の入り口にあたります。保護区は、タイの場合国立公園以上に動植物が厳重な保護下に置かれているために、一般に広く開放されているというわけではなく、宿泊にも前もっての許可が必要で、私たち以外には、他に観光客はいません。この本部には、タイの自然保護運動の父ともいわれ、ファイ・カケン野生動物保護区の環境保全に尽力したスープ・ナーカサティアンの銅像や研究棟が残されています。彼は、役人の不正や、権力者がその利権のために貧しい地域住民を雇い、森林を伐採したり、野生動物を密猟するようにし向けたりして、多くの野生動物が生息する豊かな森林が破壊されていくことを食い止めるために保護区と周辺との間にバッファゾーンを設けることを提唱するなど、その保護に努めました。しかしその最中、1990 年に謎の自殺をしています。この保護区は、こうした活動の成果もあって 1991 年世界自然遺産に登録され、現在でもアジアゾウ、トラ、ヒョウなどの大型哺乳類や、クジャク、サイチョウなどの大型鳥類が数多く生息しています。

ネイチャートレイルで動物の足跡についての解説を聞く

○ 今後の活動予定のお知らせ(2009 年　冬～春)

3/27～29　　冒険学校 『みなかみ雪中キャンプ』　＠群馬県みなかみ町
4/18～19　　のびと講座 『山菜と新緑のデイキャンプ』　＠小菅村
4/24　　のびと講座 『野草の天ぷらとお茶つみ』　＠東京学芸大学
5/3～5　　冒険学校 『むらまつりキャンプ』　＠小菅村
5/8～9　　『雑穀栽培講習会～種まき祭』 ＠小菅村
6/5　　『第 30 回環境教育セミナー』 ＠東京学芸大学
須田郡司さん（石文化）、中野正貴さん（魚）、川上香さん（雑穀）、安西英明さん（鳥）、宇根豊さん（水田）さんをパネリストとしてお招きします。いずれの方も生物文化多様性をテーマにご活躍されている方々ですので、お楽しみに！！　詳細はホームページで紹介していきます。

※ログハウス企画第 2 弾「ログビルダー養成講座」、「(仮)水洗トイレプロジェクト」に関しては、順次開催する予定です。

○ 事務局より

●『溜まっていた法務局や税務署の提出書類と格闘しています。早く暖かくなって体を動かしたいな～。次回はナマステ 100 号。6 月には第 30 回環境教育セミナーと、記念行事が続きます。ぜひぜひ皆様のご参加をお待ちしております～。 クロ』

●『今年は雪が 4 回も降りましたが、暖かい冬でした～。　**はるこ**』

●『年が明けてから小菅に行っていないので、刺激と癒しを求めに小菅に向かう予定です(^^)　翔』

○ 自然文化誌研究会　一緒に活動しませんか？

略称 INCH(インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NPO として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 4 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額(1～12 月)です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正 会 員:10,000 円
一般会員:5,000 円
学生会員:3,000 円
賛助会員(個人・団体):10,000 円

郵便振替口座 ： 00100-2-665768
口座名 :特定非営利活動法人 自然文化誌研究会

ナマステ 99 号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌
＜発行日＞2010 年 2 月 1 日
＜編　集＞自然文化誌研究会　事務局
＜発　行＞特定非営利活動法人
自 然 文 化 誌 研 究 会
The Institute of Natural and Cultural History

＜事務局＞〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115
TEL＆FAX:0428-87-0165
携　帯: 090-3334-5328(黒澤)
E-mail: npo-inch@wine.plala.or.jp
Ｈ　Ｐ: http://www2.plala.or.jp/npo-inch/